

自由記述まとめ（主なものを抜粋）

(1)

障がいや病気を理由に不快や不便を感じた時はどんな時ですか

1. 教育を受けるとき

- ・周りの理解がとぼしい時がある（A 1）
- ・支援学級であることを下に見てくる友人がいる（A 1）
- ・ついていけない（A 1）
- ・個人に合った支援が得られにくい（A 2）
- ・授業参観時、発表をしていたら笑われてしまった（A 2）
- ・幼稚園に入園させてもらえなかった（C）
- ・いじめがあった（C）
- ・授業に集中できない（C）
- ・手がふるえる。字がきれいにかけない（D 1）
- ・他の人と同じように出来ない時（E）
- ・体育の授業が不快だった。周りから見れば外見だけでは障がいかわからないので悪く言われる事もあった（E）
- ・通院が公欠にならない（F）
- ・言いにくい症状のため友人には伝えられない。安心して生活できない（F）
- ・中学校入学相談の際、受け入れてもらいにくい感じの対応をされた（F）
- ・障がいに合った給食が提供されない（G）
- ・地域の学校へ、受け入れについて相談に行ったが、環境や看護師の配置など前向きな話ができなかった（G）

2. 働こうとした時、働いている時

- ・上手くコミュニケーション取れない（A 1）
- ・障がいに理解が無かった（A 1）
- ・職場がバリアフリーではなかった（A 1）
- ・なかなか正社員などの安定した職業を見つけることができない（A 1）
- ・説明され理解が出来ず何回も説明される時（A 2）
- ・何年働いても、健常者と比べて理解度が低いからと、時給は新人の最低賃金とほぼ同じ（A 2）
- ・障がいの特性を理解してもらえない（C）
- ・自分が出来る作業や仕事がない、場所がない（D 1）
- ・働きたい気持ちに体調がついてこない（E）
- ・病気の事を話すと必ず面接を落とされた。隠して働いていた時は病気でできない事をさせられた時に言えず辛かった（E）
- ・時短や休みが取りにくい（F）
- ・現在、就職活動中ですが病気を理由に断られる（運動制限はあるが日常生活には問題なし）（F）

3. 趣味・スポーツなどの活動をする時

- ・指導者の声（内容）が聞きとりにくい（雑音下）（A 1）
- ・習い事が見つからない。断られる（A 1）
- ・費用が高いのでやりたい事があっても出来ない（A 1）
- ・スイミングを習いたいを手帳を持っている事で断られることがあった（A 2）
- ・ルールの把握が難しく、周りに嫌な顔をされる（A 2）
- ・チームワークがとれず、仲間外れにされる（A 2）
- ・人の目が気になる（C）
- ・体が思い通りに動かせなくて一人でイライラしている。手汗が酷くからかわれることがありました（C）
- ・音で分かるような工夫があったら良い（D 1）
- ・運動制限があるためやりたいと思うスポーツや運動が出来ない（F）
- ・ユニバを利用した時に乗り物に乗れなかった（G）
- ・家族で楽しむレジャーで、足場が不安定な場所を避けないといけないので、場所の選択は狭まる（G）

4. 公共交通機関を利用する時

- ・1人で外出できるほど障がい者に優しい環境ではない（A 1）
- ・バスの通路が狭い（A 1）
- ・エレベーターの数が少ない。人が多いと乗れない（A 1）
- ・料金が見えにくい（A 1）
- ・ホームドアのないホーム（A 2）
- ・通勤が大変危ない。人が多い（A 2）
- ・静かに座れるか心配になる（C）
- ・人の目が気になる。今コロナでワクチン打ってないので電車や乗り物に乗れない（C）
- ・人が多くて周りの音や声に反応し、他者をたたいてしまう（D 1）
- ・JRやバス、電車に乗っていて急に何分も止まっているとアナウンスが流れても耳の聞こえない方からしたらわからない。すごく困る（E）
- ・最寄り駅が階段しかない（F）
- ・バギーに乗っているの、詰めて乗ってもらった（G）

5. 公共施設（建物・道路・公園など）を利用する時

- ・歩道を通過する自転車（A 1）
- ・順番などたまに守れなく悪口を聞こえるように言われた（A 2）
- ・階段、段差、エレベーターなし、トイレなど不便（A 2）
- ・ヘルプマークを知らない人が見た目ではわからないので、理解が得られない（A 2）
- ・公園で順番を守れなかったり、ずっと同じ遊具を使い続けたがるのを他の親子に伝えるのが難しい（C）
- ・自転車がが多く道が狭い（D 1）
- ・健康な人と同じように出来ない時（E）
- ・車イスマークの駐車場が少ない。必要ない人の利用がある（F）
- ・トイレにベッドがないと身体も大きくなっているので利用しづらい（F）
- ・段差やアスファルトのデコボコ（点字ブロック以外）（G）

6. 福祉サービスを利用する時

- ・手帳を取得した時、冊子を読むと言われる。どのサービスを受けられるのか一緒に見ながら教えてほしい (A 1)
- ・手話通訳が常駐していない。もっとスマホアプリなどの技術導入を推奨してほしい (A 1)
- ・個別化されていない (A 2)
- ・放課後デイサービスの時間がもう少し長いと働きやすい (A 2)
- ・相談先が限られているため、ぞんざいな扱いを受けても黙って従うしかない (C)
- ・もっといろんな日中活動に参加したい (D 1)
- ・ガイドヘルパーが少ない (E)
- ・複雑で理解できない (F)
- ・毎年手続きが必要なことが不便。利用内容に変更があったり、障がいの状態が変わったりして変更した項目だけなど、簡略化してほしい (G)
- ・なかなか合うサービスがない (G)

7. 医療機関を利用する時

- ・待ち時間が多い (A 1)
- ・言語障がいがある為、医師との会話ができない (A 1)
- ・歯科について利用は難しい (A 1)
- ・トイレが入らせにくい (A 2)
- ・検査の理解が難しい (A 2)
- ・小児科の先生と専門の先生との連携を取ってほしい。小児科で受診拒否された事もある。眼科、歯科など専門で対応してくれる病院を探すのも大変 (C)
- ・周りから不思議そうな視線を受ける (D 1)
- ・断られることがある時 (D 1)
- ・何かあった場合、どちらに連絡すればよいかわからない (E)
- ・専門医が少ない (F)
- ・完全看護だと言われても、ナースコールも押せず、言葉で表現できない、自宅で状態が安定している日常でも見守りが不可欠な障がい児の場合は付き添いをせざるを得ない。しかし付き添いは家族に限られ、劣悪な状態。たとえ毎日処置のための通院になっても入院を希望しようと思わない (G)
- ・医療機関への移動が大変 (G)

8. 必要な情報を探したり情報提供を受ける時

- ・情報が多すぎる (A 1)
- ・保育園に入園、小学校に入学など進級のたびに情報収集したり、見学したり疲弊します (A 2)
- ・窓口のはずの区役所職員の制度等の知識不足 (A 2)
- ・どこにどう話していいかわからない (C)
- ・一人で情報を入手するのは難しい (D 1)
- ・福祉サービスの冊子を渡されるだけで自分で当てはまるものを探すのが難しかった (E)
- ・ハザードマップなど、もっと大きく見てわかるようにしてほしい (F)
- ・進学時、役所などに手続きについて相談したが、色々なところにたらい回しにされ、結果ほしい情報は得られなかった (G)

9. 住宅の購入または住宅に入居する時	
・賃貸入居時、断られた（A 1） ・バリアフリーがない（A 2） ・理解できない（D 1） ・自宅療養の為、仕事にあまり行けず、給料が減ったので生活がしんどい、空いている市営住宅もない、エレベーターが必須（F） ・駐車スペースが広く必要（車イスの搬入など）。デイの送迎などで自宅横に駐車してもらおうが、道路幅がせまく他の車に迷惑がかかる（G）	・1人暮らしで障がいがあるので、断われた（A 1） ・周囲の理解（C） ・戸建て住宅における上下階移動手段（E）
10. 政治活動や選挙に参加する時	
・投票に行きづらい（A 1） ・情報が足りない（D 1） ・会話も出来ない、視覚障がい、自閉症なので、選挙で代役の方が付き添って頂いても難しい（F）	・ネット投票させてほしい。ひとりごとの声が大きいので（A 2） ・1人では行けない（E）
11. 家族や周囲の人の理解を得ようとする時	
・自分の気持ちが分かってもらえない。説明できない（A 1） ・しんどいのに分かってもらえなくて辛い（A 1） ・家族は分かってくれるが、周囲の人は病気に関して理解は無理（A 2） ・見た目や一目でわからないため伝わりにくい（C） ・家族も冷たくされることがある（E） ・昔の人はすぐ施設に入れるよう勧めてくる（F）	・本人の祖母、祖父世代の理解を得にくかった（A 2） ・施設に任せきりになる（D 1） ・しんどさや症状が理解されない（E）
12. 買い物や外食などをする時	
・買物でお金を払う時（A 1） ・ジロジロ見られる（A 1） ・トイレの手すりがないので本人だけでは使用しづらい（A 2） ・偏食が強く、外食できる場が少ない（C） ・トイレに行きたい時に直ぐに入れない時（E） ・食品のアレルギ―表示がない。あっても雑なこともある（F）	・欲しい物、嫌な物を伝えるにくい（A 1） ・なるべく個室（A 2） ・一人での外出が難しい（D 1） ・外食できる場がほとんどない（G）
13. その他	
・カミングアウトすると対応が悪くなったりする（A 1） ・ペースメーカーを入れているので、周りの磁気が気になる。家族に介助してもらい、負担をかけていると強く思う（A 1） ・ヘルプマークをつけている人が多いがどんなヘルプが必要かは見た目で分かりにくい（A 2） ・もっと障がい者に対して、学校等に支援学級の充実増やしてほしい（特に高校）（A 2） ・迷惑をかけないように努力はしているが、どうにもならない時がある（C） ・道などで点字ブロックの上から人が動かない。白杖を持っているとぶつかってもあやまらない人などが多い（D 1） ・保険に入れない（F） ・区役所に行くと、必要以上に同情される。態度の豹変（G） ・日常生活用具給付の品目に発電機や蓄電池など災害時の電源確保のためのものが対象になっている市町村があるのに大阪市では入っていない（G）	

自由記述カテゴリ別集計

カテゴリ		E	F	G
		難病	小児慢性	医ケア児
n		69	87	85
1	備蓄等の備えについて	18.8	10.3	14.1
2	避難方法について	23.2	3.4	34.1
3	避難所について	24.6	17.2	24.7
4	医療について	27.5	66.7	37.6
5	周りの協力について	2.9	4.6	8.2
6	住まいの場について	4.3	0.0	7.1
7	その他	10.1	11.5	12.9

1. 備蓄等の備えについて

- ・個人の備えについて、どこに置いておくのか、その時どこにいるのか等考えてしまい備えが出来ていない（E）
- ・備えを確保しておく保管場所がない。一人暮らしの部屋にゆとりなどない（E）
- ・長期保存できるものが手に入りにくい（E）
- ・非常時の食事が心配（F）
- ・摂食障がい、消化不良症の為、食べられるものが決まっているが、それらを調達できなくなってしまった場合、どうなるのだろうか、とても不安（G）
- ・充電式のバッテリーは1台あるが、停電時これで足りるのかももう1台準備していたほうが良いのか、容量はどの程度ならいけるのか（G）

2. 避難方法について

- ・急いで避難できるか不安（E）
- ・狭小道路地区における災害時対策（E）
- ・座位がとれない寝たままの状態なので、すぐ避難できないうえ医療機器が必要なため、どうしたらいいかわからない（G）
- ・災害の種類によっても避難の方法が変わると思うので障がいがある人対象の災害時の支援を定期的に相談・計画できる場所がほしい（G）

3. 避難所について

- ・トイレがすぐに使えるのかが一番心配。トイレがちゃんとしていないと食事もとれない（E）
- ・場所見知り、大勢の人がいる場所、知らない人、初めてのことが苦手なので避難した時パニックにならないか不安（食べ物など）。指示がうまく理解できないので不安。食べられる物があるか、保存食で食べられそうなものがない（偏食なので）（F）
- ・過度なストレスによる体調の急変（F）
- ・車いすでの移動、衛生面で不安（G）
- ・災害時は普段と生活ペースが違うので集団生活が困難の可能性あり、個別スペースの確保が必要かもしれない。紙おむつが確保できるか心配（G）

4. 医療について

- ・日頃服用している投薬があるのかが心配（E）
- ・目薬は冷やしてないとダメなのに、災害時は無理だと思う。飲み薬も余分にはない（E）
- ・医薬品などの提供、処方箋を出してもらえる医師・病院にかかる事ができる状態が確保できるか（E）
- ・子どもの血糖値があまりにも変動するのではないかと心配している（F）
- ・蓄電池は用意しているが、医療機器を色々使用しているので、避難に時間がかかる場合が不安（F）
- ・かかりつけでない病院が、受け入れてくれるかどうか（G）
- ・電源を確保するよう努めている。実際どうなるかわからないので（G）

5. 周りの協力について

- ・自分の言葉で思っている事を上手く話せないのを、周り上手く伝えられない。そのような人のために言葉のブ
ラカード的なものを用意してもらえると1人でも避難できると安心できる（E）
- ・私が片まひなので、子どもに助けてもらえないといけませんが、子どもを守ることもしないといけなし。私も身体
2級と高次脳機能障がいがあるし、子どもも多動性障がいを持っていたりするのでいろいろ不安（F）
- ・子供は寝たきりで話せないので、いざという時に医療ケアや移動を誰に頼ればいいのかわからない。火災や地震が
起きた時にマンションのエレベーターが停止、使えなくなった時、20 kg近くある子供を抱っこして避難はしごを
おりられるのか、階段でスムーズに避難できるのか、いつも心配している。担架などを購入しておくべき（G）
- ・ひとり親なので災害が起きた、近所へ手助けを求めるのが困難（近隣がお年寄りばかりなので）（G）

6. 住まいの場について

- ・寝たきりでマンション高層階に住んでいる為、災害が起こるとマンションから動けなくなる（E）
- ・マンションの高層階に住んでいるため、エレベーターが使用できない場合、子どもを抱えて階段を下りるのは不
可能（E）
- ・マンションなので「地域の避難所に行くよりも自宅で待機してください。落ちついたら電話で様子をお聞しま
す」と地域の福祉委員会の方と数年前お話しした。救援物資は届くのか。子どもの分は用意しようとは思ってい
る。避難所に行けないので大人2人はカウントされないのでは（G）
- ・マンションに居住しているので、本当に非難すべきか自宅にいる方がよいかの判断がつくかどうか。呼吸器の電
源確保について不安（G）

7. その他

- ・難病なので受け入れの場所がなければ確保して頂きたい（E）
- ・地震・台風等の際の役所（区役所、大阪市役所）などの対応の計画が全く見えてこない（E）
- ・毎日飲む薬の確保、感染予防、衛生（F）
- ・子ども達と離れてしまった時の子どもの対応（F）
- ・大きな災害が起きた時は役所などは機能しないと思う（G）
- ・シミュレーションや準備はしているが、基本自宅避難の予定ため、情報や物資をもらいに行く場合、本人を連れ
て行かないとももらえないなど具体的な計画がどのようになっているのか不安。人工呼吸器使用の医療ケア児では
ないので、熱がこもらないようにするための電源の供給が優先的に受けられないと思うので、夏に災害がおき
ると困る（G）

(3)

障がい者施策全般についての自由記述

自由記述カテゴリ別集計

カテゴリ		A1	A2	C	D1	E	F	G	B	D2
		本人用	家族用	発達	施設入所者	難病	小児慢性	医療的ケア児	事業者	入所施設管理者
n		460	587	71	29	58	64	59	235	12
1	啓発・広報	1.5	2.0	2.8	0.0	3.4	0.0	3.4	-	-
2	ヘルプマークについて	2.2	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-	-
3	情報・コミュニケーション	9.6	11.9	12.7	3.4	6.9	12.5	6.8	-	-
4	権利擁護・相談支援	13.9	15.7	18.3	3.4	13.8	25.0	13.6	-	-
5	生活支援	8.7	10.6	9.9	10.3	17.2	29.7	27.1	-	-
6	金銭的援助	11.1	10.2	4.2	3.4	17.2	0.0	0.0	-	-
7	スポーツ・文化活動等施設	3.3	1.5	5.6	0.0	1.7	0.0	0.0	-	-
8	保育・教育	10.4	21.3	25.4	0.0	0.0	14.1	13.6	-	-
9	就業	7.8	4.3	9.9	0.0	0.0	3.1	0.0	-	-
10	生活環境	4.6	0.9	2.8	13.8	5.2	4.7	3.4	-	-
11	公共交通機関/道路	7.0	6.0	2.8	3.4	8.6	3.1	8.5	-	-
12	安全・安心	7.2	0.5	0.0	3.4	1.7	0.0	3.4	-	-
13	将来の不安	3.5	7.7	7.0	0.0	5.2	0.0	8.5	-	-
14	保健・医療	6.3	2.9	7.0	13.8	3.4	9.4	6.8	-	-
15	福祉サービス/施設について	5.9	15.7	16.9	13.8	3.4	3.1	30.5	-	-
16	障害者に対する健常者の知識、認識について	4.6	14.8	22.5	3.4	10.3	6.3	1.7	-	-
17	アンケートについて	11.3	4.4	7.0	6.9	6.9	9.4	5.1	-	-
18	現状維持を希望	0.0	1.4	2.8	3.4	3.4	0.0	0.0	-	-
19	その他	12.6	7.8	5.6	31.0	27.6	18.8	6.8	-	-
20	制度について	-	-	-	-	-	-	-	19.1	16.7
21	報酬・運営等について	-	-	-	-	-	-	-	35.3	33.3
22	啓発・広報について	-	-	-	-	-	-	-	14.9	16.7
23	業務内容について	-	-	-	-	-	-	-	20.0	0.0
24	社会参加、地域での生活について	-	-	-	-	-	-	-	3.8	8.3
25	障がい福祉サービスについて	-	-	-	-	-	-	-	8.1	8.3
26	人材の確保について	-	-	-	-	-	-	-	15.3	41.7
27	人材の育成、スキルアップについて	-	-	-	-	-	-	-	9.4	8.3
28	連携について	-	-	-	-	-	-	-	4.7	0.0
29	災害時の備えについて	-	-	-	-	-	-	-	0.9	0.0
30	ハラスメント、虐待について	-	-	-	-	-	-	-	4.3	0.0
31	その他	-	-	-	-	-	-	-	11.5	16.7

1. 啓発・広報
・障がい等級支援に対して行政の徹底した周知作戦の実行。冊子の配布等お願いしたい（Ａ１） ・どこに支援を求めたらいいかがわかりにくい。困った時にすぐ相談できる窓口がほしい。発達障がいについて偏見をなくす為にもどのような障がいかわかりやすく、広く啓発してほしい（Ａ２） ・発達障がいへの一般での認知、理解が深まるよう、広報してほしい（Ｃ） ・今日の障がい者に比べて膠原病等に伴う障がいについて、健康な方々には理解しづらく、またなかなか理解してもらえてない点が多々。今後とも啓発活動には力を入れていただきたい（Ｅ）
2. ヘルプマークについて
・ヘルプマークに大変助けられてる（Ａ１） ・ヘルプマークの認知が進めばと思う（Ａ２）
3. 情報・コミュニケーション
・障がい児の親への情報提供が少なく、こども相談センターや病院などたらい回し感がある。親のメンタルケアが１番子供にとっても影響あると思う（Ａ１） ・自身が聞かないと情報を集めることができず、知らない福祉サービスがたくさんあり、情報を集約するのがとても大変。（Ａ１） ・コロナ禍でマスク着用が日常となり、聴覚障がいのある自分は相手とのコミュニケーションが一層困難になった。相手とのやりとりが音声（声）だけではなく、文字情報でやりとりできる環境を整えてほしい（Ａ１） ・外見では判断されにくく、また高齢難聴のためコミュニケーションが取りにくい（Ａ１） ・自分の中に入り外出しない。コミュニケーションがとれない（Ａ２） ・小児ガンになった後の治療や予後に関する情報がとても少ない。副作用や通院などハンデにもなることが多いので支援はあるのか不安を感じる（Ｆ）
4. 権利擁護・相談支援
・障がい者の教育と就労の後の生活を支援したり相談したりする場所が欲しい。例えば、障がい者自身が親の介護をするときや葬儀をするときの相談所とか、障がい者が結婚したいと思ったり、育児をしたりするときの相談所とか。行政の支援では、学校に行き行って働いて、その後の支援が見つからない。いきなり高齢になるか障がい者施設に入所するという人が多い。軽度の障がい者なら支援や介護を受けるだけでなく、受けながら逆のこともしたいといけなことが、必ずあると思う（Ａ１） ・成年後見制度を利用している。裁判所から外出や外泊の制限を受けるのが嫌。お金があるのに使わせてもらえないのが嫌。私の話を聞いてもらえる機会がないので悲しい（コロナで後見人が会いに来てくれなくなったのが嫌）（Ｄ１）
5. 生活支援
・公的支援のほとんどが、平日日中しか利用できない。障がいがあるだけで働くのが大変なのに、有休を取って支援サービスを申請するのは困難。障がい者が納税者になれるようにする仕組みを、真剣に考えてほしい（Ａ１） ・外出のボランティアがほしい。身体障がいなのにガイドヘルパーが使えない。自由に外出したい（Ｄ１） ・手続き（更新等）のために費用がかかる、手間がかかる。難病受給書の書類を毎年書くことが負担。ネットなどでもできるとよい（Ｅ） ・手続きを簡素化してほしい。面談が必要な場合、オンラインにしてもらえるととても助かる（Ｆ）
6. 金銭的援助
・所得の保障（Ａ１） ・タクシー券、通院に片道 4000 円かかる。１回にタクシー券何枚かで通えるようにになりたい（Ａ１） ・人工内耳の補助をして欲しい。電池が特に高い。１年半に一度買わないといけない（Ａ２） ・医療費の軽減をしてほしい。障がいから他の病気を併発して費用がかさむ（Ｅ）

7. スポーツ・文化活動等施設
・駅に近い長居障がい者スポーツセンターの充実は、特に重要であるとする。スポーツを通じてリハビリ・精神の開放など色々な利用で多数の人の役に立っている施設（A 1） ・室内遊具やプール、遊園地等、年に1度でも障がい者優先の日があれば嬉しい（貸切とか）。どうしても健常者の中だと利用しづらい場所が多いので。逆に、支援学校や障がい者スポーツセンターの中だと子どももののびのびしていて親も疲れず安心（C）
8. 保育・教育
・障がい児の移動支援はあるが、学校（普通）の支援がないので、移動支援時間を長くしていただき、学校の登校支援を作してほしい（A 1） ・障がい者と健常者が接する機会が少なく周囲の理解が得られない場面が多いと感じる。学校などでもふれ合える機会を増やしてほしい（A 2） ・進学時に特別支援学級に所属するかの判断が親に一任されているため、所属の基準が非常にあいまいになっていると思う。客観的に判断したり、相談に乗るところがあれば、親の心理的な負担軽減につながると思う（A 2） ・保育所や幼稚園に入ろうと思っても、職員の方達の知識や対応が不安で入れられない。そもそも受け入れるのが嫌とあからさまに拒否されることもよくある。障がいといっても個々で持っている特性が違うので、そういう世間が知らないことを知る機会がないことが問題かと思う（A 2） ・障がいへの理解ある先生が増えて欲しい（学校、園）。（A 2） ・義務教育終了後の進路についても、もっとたくさん選択肢があればと思う（A 2） ・「障がい児受入れ」と幼稚園や保育所は言っているが、結局どこも受け入れは難しく、入所できなかった。人員不足なのはわかりますが、「障がい児は入れないんだ、健常児とのふれ合いはできないんだな」と悲しかった（F） ・高校卒業後の学習機会の確保を本当に考えてほしい（G）
9. 就業
・障がい者雇用では給料が安いので、税金の免除等サポートをしてほしい（A 1） ・若くても入所できる施設の充実。生産（農業等）作業等に携わる、または就労チャンスを作してほしい（A 2）
10. 生活環境
・最近は随分社会の理解も広がりつつあるかと思うが、まだまだ障がい者からすると、周りの視線や施設等の部分で不快感がある。トイレや階段、移動手段など不便を感じる時は多々ある（A 1） ・公営住宅に優先的に入居させてほしい。賃貸住宅では不便で住宅改修等が受けられないので困っている（A 2） ・もっとストレスのない暮らしがしたい。たくさんの人の協力で自由な時間がほしい。好きな物が食べたいので外出に行けるようにしたい（休みの日）（D 1）
11. 公共交通機関/道路
・スロープをもっと多くしてほしい（A 1） ・点字ブロックや音の出る信号機が少ないので、もっと増やしてほしい。大阪は少なすぎる（A 1） ・市内交通の無料乗車証の制度の維持をお願いしたい（C）
12. 安全・安心
・災害時の時などが心配（A 1）

13. 将来の不安

- ・今は施設に入っているが、今後はどうなるかわからないため不安がある。大阪市としてどんなサポート体制があるのか余りイメージできていない。施設側からは何かあるごとに出てほしいと言われ安心ができない（A1）
- ・今は家族（妻）と一緒になので何とか生活が出来ているが、一人になった時に助けてもらえるか、どこに相談すればいいのか不安。具体的な例などを教えてもらいたい（A1）
- ・親が面倒を見られなくなった時に、自立できているか不安がある。グループホーム等も探した方が良いのか、同じような環境の方と情報交換をしたいと思っているが具体的にどうすればよいか、分からない。（A2）
- ・両親の方が先に亡くなるので、その後のケアが心配。その子の特性に応じた介護をしてくれるのが心配（G）

14. 保健・医療

- ・発達障がい（大人）を診れる病院を増やしてほしい。電車に乗らないと診てもらえる病院に行けない（A1）
- ・重度の言葉もなく気持ちが伝えられなく、自閉症の特質で不安が大きい人がコロナで一人で入院した場合、精神的にダメージを受けて帰ってくることもある。病院ではダメなことはダメと決められているが、入院に関しては相手のことを理解している人が付き添う方がスムーズに医療を受けることができると思う。コロナ禍3年でいろいろなことが分かったと思うので、対応もいろいろなパターンで変えていただけたらうれしい（A1）
- ・医療的ケア児の保育園等の受け入れが進んでいないと感じる（A2）
- ・外来リハビリが出来るところが少ない（D1）

15. 福祉サービス／施設について

- ・障がい者福祉サービスをもっと充実してほしい。サービスが全く足りない。障がい者は一人では生活できない。障がい者が安心して生活できるような福祉サービスをしてほしい（A1）
- ・ショートステイを受け入れてもらえる所がなく、区役所からショートステイをしているところを聞き問い合わせをしましたが、職員が少ないため受け入れができないと言われ、ショートステイの日数をもらっていますが行く所がない。とくに、障がい者1級は受け入れがむずかしい（A1）
- ・将来の不安が大きい。グループホームの選択が少なく、もっと増やして体験ができる仕組みを作してほしい。地域の方々の理解を深める広報もしていただきたい（A2）
- ・障がい者についての知識と対応能力を兼ね備えたヘルパーの充実、人数が増えてほしい（A2）
- ・放課後デイサービス、児童発達デイサービスの事業所、増えているけど見学に行ったり利用してみても安心して預けられるところは少ない。国から事業所への補助も事業所の質がいいところは手厚くしてほしい。（A2）
- ・動ける医療ケア児（身体的に問題ないが導尿が必要）を受け入れてくれるデイサービスがない。そのため現在、不登校となっている子供の行く場所がなく親がつきっきりで世話、対応せねばならず辛く、しんどい（A2）
- ・お世話をする人が病気等で世話できなくなった時の一時的な預かり場があったらいい（C）
- ・人工呼吸器など、医療ケアを必要とする者の受け入れる生活介護施設が少ない。高校卒業後の進路に不安がある。入浴に負担がかかり、難しくなっている。何か楽にできる方法はないかと検討している（G）

16. 障がい者に対する健常者の知識、認識について

- ・障がいをもっている人に対してもっと気持ちをくんでももらえる世の中になってほしい（A1）
- ・どこに出かけるにしても呼吸器をつけている1才はなかなかいないため、じろじろ見られることが多い。もう慣れてはきているが、理解が深まっていくことを願っている。車イスマークの駐車場に、車イスマークがないのに止めている車が多く、利用できないことがある（G）

17. アンケートについて
・問題数多すぎる。回答するのがしんどい（A1） ・5才児の親として本人用のアンケートは答えにくかった。家族用だけでよかったのでは？（A1） ・こうしてアンケートを取って下さって、住みやすく変えていってもらえてありがたいと思っています。介護される側も、する側も関与しない人にも、あたたかい雰囲気の大阪市にしてもらいたい（G）
18. 現状維持を希望
・現在受けている障がい福祉サービスが今後も安心して受けられるようお願いしたい（A2）
19. その他
・手帳の名前が「精神障がい」という名に抵抗がある。”サポート手帳”など名前を変更してほしい。精神障がい者法からとっていたとしても名前はそうしないといけないわけじゃないと思う。（A2） ・障がい者に支給される手帳の表紙に「障がい」とつける事を改めてほしい。知人等に見られる事をさげたいと思うので表紙は無地にして下さい（A2）

【障がい福祉サービス等事業者（B）・入所施設管理者（D2）に関する部分】

20. 制度について
・制度が細かいのは仕方ないとしても、そのことが直接の支援業務に対して差し障りを生むようでは困る（B） ・成年後見制度の利用が増えてきたが必ずしも障がい者の意見が意思が後見人に理解していただけているわけではない。コロナを理由に（自主的に）面会制限をしている傾向にあり被後見人の理解が進まない。報酬だけが被後見人の財産から引かれていくことに、この制度の意義を問いたい。ともすれば後見人による被後見人の行動制限、経済的虐待に近い行為とも言える程度も見受けられる。これらは家族後見ではない弁護士や司法書士等によるものが多い。障がい理解ができていないことが原因と思われる（D2）
21. 報酬、運営等について
・とにかく報酬のアップにつきる。また、株式会社などの参入が著しいが、質の担保はどうなっているのか疑問に感じる事が多い。粗製乱造ではないのか（B） ・人手不足の対策として処遇改善（特に給与アップ）を検討してほしい（D2）
22. 啓発・広報について
・マニュアル作成や、新しい制度の取り組みなど、必要な物の一覧と説明（様式）がほしい（B）
23. 業務内容について
・今以上に利用者一人一人の生活スタイルに合わせられる運営が実施できるように運営サポートしていただければうれしい（B） ・本人はもちろん、家族の方の精神的、金銭的負担が大きいため、支援や配慮が必要だと思う（B）

24. 社会参加、地域での生活について
・障がいを持たれた方たちが住みやすい地域、障がい者や障がいを持った児童の声を少しずつでも形にした町づくりを期待する（Ｂ） ・最重度の方の入所施設では地域移行は難しい。コロナ禍で在宅でコロナに感染した人への支援は難しいが、連絡が入ってきて短期等の要望があるも利用は困難である。どうにかしてほしい（コロナに感染した在宅障がい者の支援）。（Ｄ２）
25. 障がい福祉サービスについて
・入所施設の外出支援が不足している。通所・通勤では移動支援を利用できない。移動支援の報酬単価が低い（Ｂ） ・障がい児支援担当の方の対応が、区によって異なることがありますので、もっと均等になればと思う（Ｂ）
26. 人材の確保について
・これ以上報酬単価が下がる等の収入減になると、経営が厳しくなってしまう（人員不足等による支援の質が落ちてしまう可能性がある。落ちないように努力はするが）（Ｂ） ・障がいのある人もない人も芝生型の社会を作るためには、バックアップ施設としての入所施設の機能拡充が必要です。現在の職員配置基準も不十分で、利用者の社会参加やそのための生活支援をきめ細かく進めていくためには、更なる拡充が必要です。行政の政策立案時には、その点を充分意見を反映できるような、仕組みづくりを進めていただきたい（Ｄ２）
27. 人材の育成、スキルアップについて
・今後、精神的な事に悩んだり、学習障がいの児童が増えていくと思う。支援者も少なければ、事故も増えて良くない気がする。まずは、人間性を見て、指導員を育てる施策をお願いします（Ｂ） ・サービス管理責任者研修が受講できない。毎年申込みが１名配置されていると落とされる（Ｄ２）
28. 連携について
・みんなで連携し合理的配慮ができる地域コミュニティを創っていくように努めていきたい（Ｂ） ・地域の学校、保育園、幼稚園との連携の機会 必要書類の明確化（一覧にしてフォーマットの公表など）（Ｂ）
29. 災害時の備えについて
・避難要支援障がい者、高齢者に対する支援制度や避難方法、避難所の充実（Ｂ）
30. ハラスメント、虐待について
・ハラスメント、虐待等はどこまで事実、偽り等果てしないものでわかりにくいものだと思う。あえてどこまでなのか線引きの問題がある（Ｂ） ・障がい者が安心して生活できる環境が整っているとは言えない状況であり、個人的に行政に虐待を報告しても改善されていない事業所があることもあり、形だけの施策にしかになっていないと感じる（Ｂ）
31. その他
・障がいのある方のご家族が高齢化してきており、ヘルパー不在時に対応が難しいケースが増えている（Ｂ）